



その他の関係様式

行政視察結果報告書

行政視察結果報告書

令和 4年12月20日

高島市議会議長
廣本昌久様

会派名 至誠会
会派代表者名 廣部真造 印
(高島市議会議員 印)

行政視察の結果について (報告)

行政視察の結果について下記のとおり報告します。

記

- 1 期 間
11月24日
- 2 視 察 先
敦賀市
- 3 視察目的
北陸新幹線敦賀駅開業を目前にして、敦賀市でどのような取り組みをしているのか確認し、意見交換をするため。
- 4 調査内容
観光産業を視点とした敦賀駅周辺の開発状況や既存の観光拠点を視察した。敦賀市と高島市との連携の可能性について協議した。
- 5 参 加 者
廣部真造、河越安実治、中川あゆこ

《所感》

敦賀は港と山との間に平地が広がっているものの、決して広いとは言えない。さらなる発展を考えると高島市との連携によって、その弱点を補うことで発展の可能性を見出している。それがハーモニアスポリス構想として位置づけられている。北陸新幹線敦賀駅が開業し、敦賀駅が京阪神へ向かうための乗換駅にならないよう。敦賀駅で降りてから敦賀市を巡り、高島市を巡り京阪神などへのスタート地点になるように取り組んでいた。敦賀市単独ではなく、高島市や若狭・小浜との連携の可能性も考えている。その中の一つとして、修学旅行の受け皿としての具体的なコース内容の検討も進めていた。今回の視察で回らせていただいた所は、その主要なものになる。高島市も観光客を敦賀市から周遊してもらうための具体的検討を始めるべきだと感じた。高島の魅力を発信することが敦賀駅を乗換駅ではなく観光のスタート駅にすることに繋がると考える。敦賀、高島の連絡道路の件もやがて具体的な事業として進められることが期待できる。まずは、目前に迫った北陸新幹線敦賀駅開業に合わせての取り組みを丁寧に進めることが最善であると考えます。

①気比神社

- ・気比神宮は、大宝2年（702年）の創建と伝えられる越前国一の宮で、古代・中世にはその勢力を誇った。その後戦国の動乱期に朝倉氏とその命運をともにし荒廃したが、慶長年間に結城秀康の援助を受け復興を遂げた。元禄2年（1689年）に松尾芭蕉が「おくのほそ道」の旅で月を詠んだ名所として知られ、昭和20年（1945）の空襲により本殿を含む大きな被害を受けたが、芭蕉もくぐった当時の大鳥居は焼失を免れ、国の重要文化財に指定されている。
- ・気比神宮境内は平成28年10月3日に国の名勝「おくのほそ道の風景地」に指定され、また、令和3年10月15日には日本百名月に認定されている。

②敦賀港

- ・日本海側有数の天然の良港で、古くから横浜、神戸、関門とともに対岸諸国と国内各地を結ぶ中継港として軍事、経済、文化交流の拠点として栄えてきた。
- ・現在は、対岸貿易はもとより、関西・中京地域と北海道を結ぶ国内物流の大動脈として重要な役割を担っている。
- ・年間取扱貨物量は約1,600万トン。石炭、コンテナ貨物や国内のフェリー貨物、RORO船貨物等が中心となっている。
- ・貨物の安全で効率的な物流、さらなる貨物量の増加に対応するため、国土交通省及び福井県において、ユニットロードターミナル整備に取り組んでいる。

③敦賀市立博物館

- ・敦賀の歴史・文化ゆかりの美術品などを展示しており、建物は昭和2年に郷土の偉人・大和田荘七が建てた旧大和田銀行の本店で重要文化財に指定されている。
- ・当時の敦賀港の繁栄を象徴する豪華なつくりで、北陸で最初のエレベーターや大理石のカウンター、大金庫など建物そのものも見どころの館である。
- ・現在は特別展『敦賀藩物語』を開催中。敦賀藩は鞠山藩とも呼ばれ、小浜藩酒井家の支藩で、その一万石の領地の半分は高島郡にあった。幕府の要職を担い、幕末外交の舞台で活躍するなどした歴代藩主を中心に紹介している。

④北陸新幹線建設現場

- ・2024年春、金沢～敦賀駅間開業予定。
- ・駅舎デザインコンセプトは「空にうかぶ～自然に囲まれ、港を望む駅～」
- ・1階が特急乗り換えホーム、2階がコンコース、3階が新幹線ホームという3層構造で、駅舎の屋根までの高さは12階建てビルに相当する約37メートル。新幹線駅舎の規模としては全国一の巨大な駅舎。
- ・ホームは床を船の甲板をイメージした木調タイルで仕上げ、待合室も船をモチーフにしたもの。窓からは中心市街地の街並みや敦賀湾が見渡せる。

⑤敦賀駅西口

- ・令和6年春の北陸新幹線敦賀開業に先駆けてオープン。
- ・民間事業者が市有地を借り受け、整備した官民連携事業。
- ・約8,000平米の敷地にワンランク上のビジネスホテル、飲食店・物販施設のほか、知育・啓発施設である「ちえなみき」が整備されている。
- ・「otta」の名称は敦賀駅交流施設オルパークから連動した場所として、私（オル）からあなたを見つける（オッタ）という「出会いの場所」という意味を込めており、交流と日常的なにぎわいを生み出す場所が表現されている。
- ・POLTは、港を表す英語 PORT と、線路を表す LINE を組み合わせた造語。Place of Loving Tsuruga の略でもある。

⑥敦賀駅西口 2

- ・知育・啓発施設「ちえなみき」は全国でも珍しい公設書店形式。
- ・取り扱うのは新刊だけでなく、絶版本や古書、洋書が混在。3万冊を超える書籍が所蔵しと並ぶ。
- ・空間コンセプトは、世界神話にも登場する「世界樹」。豊穡な生命力、生産力の象徴である「木」をモチーフとすることで、敦賀に根差し、その成長と発展を支えていく「知の拠点」という施設コンセプトを表現する。
- ・「ちえなみき」の名称は、本施設を通じて多くの本や人が出会うことで、多種多様な知恵を育み、一人ひとりが枝や幹となって、世界樹のように大きく成長してほしいとの願いを込めている。

⑦人道の港ムゼウム

- ・敦賀港のシンボル緑地である金ヶ崎緑地内に、無料休憩所を改装して、平成 20 年 3 月に開館。
- ・「ムゼウム」はポーランド語で「資料館」を意味する。
- ・20 世紀前半に、敦賀港に上陸したポーランド孤児やユダヤ人難民と敦賀の人々の関わりや歴史を展示紹介している。
- ・更なる情報発信のため、大正、昭和の時代に敦賀港にあった四つの象徴的な洋館 4 棟を復元し、令和 2 年 11 月 3 日リニューアルオープン（12 億）。式典では、ゆかりのあるイスラエルやリトアニア、ポーランドの大使など約 100 人が出席。

① 気比神社



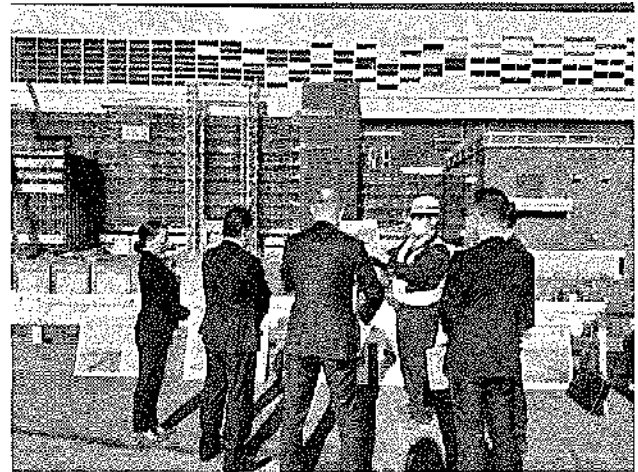
② 敦賀港



③ 博物館



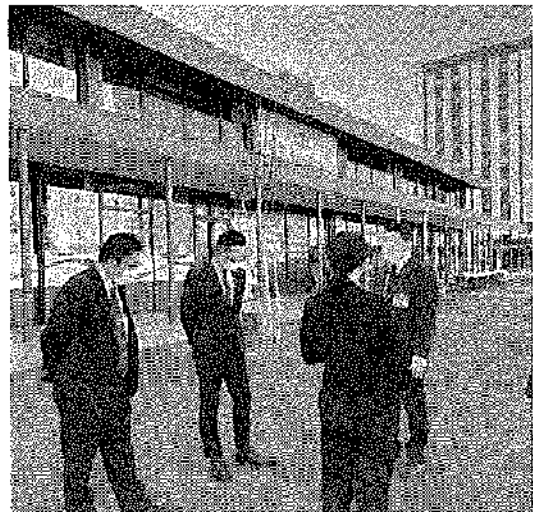
④ 北陸新幹線建設現場



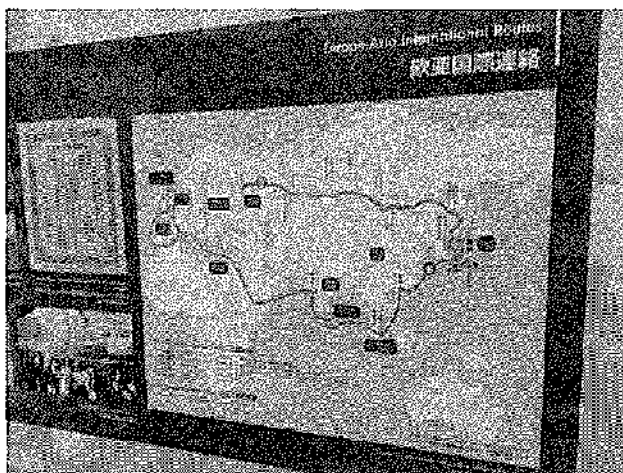
⑤ 敦賀駅西口



⑥ 敦賀駅西口 2



⑦ 人道の港ムゼウム





敦賀市
Tsuruga City

敦賀市副市長

池澤俊之 IKEZAWA TOSHIYUKI

〒914-8501
福井県敦賀市中央町2丁目1番1号
TEL. 0770-21-1111(代)



敦賀市教育委員会 文化振興課

主幹 中野拓郎
(学芸員)

〒914-8501
福井県敦賀市中央町2丁目1番1号
TEL. 0770-21-8153
FAX. 0770-21-4126
文化振興課分室
TEL/FAX. 0770-21-1170
E-mail ts2369226@ton21.ne.jp



TSURUGA CITY

政策幹 有乘正志

ARINORI Masashi

敦賀市 都市整備部

〒914-8501 福井県敦賀市中央町2丁目1番1号
TEL.(0770)22-8138(代) FAX.(0770)23-4123
E-mail ts225020@ton21.ne.jp

敦賀市 都市整備部長

小川明



〒914-8501
福井県敦賀市中央町2丁目1番1号
☎ 0770-21-1111 (内線3400)
✉ ts220796@ton21.ne.jp



敦賀市観光部人道の業務担当

室長補佐 松田和之

Matsuda Kazuyuki

〒914-0072 福井県敦賀市金ヶ崎町23-1
TEL.0770-22-8129 FAX.0770-37-1036
E-mail:ts235595@ton21.ne.jp https://www.city.tsuruga.lg.jp/



JR TT

鉄道・運輸機構

北陸新幹線建設局
敦賀鉄道建築建設所長



阿部祐介

ABE Yusuke 一級建築士



独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
〒914-0017 福井県敦賀市東野町1番15号
TEL. 0770-47-6172 FAX 0770-21-3736
e-mail abe.yus-p77h@jrcc.go.jp



ちえなみき

10:00~20:00
(水曜定休日)

〒914-0055
福井県敦賀市東野町1-5-32
TEL 0770-47-5508
TEL 070-0812-2342
sayuki.sasamoto@maruzen.co.jp

店長

菅本 早夕里

子育てサポートセンター

きらきらくらぶ

https://kirakiraclub.org/

福井県活動法人

林 由美子

おもちゃコーディネーター



〒914-0121
福井県敦賀市野神1-74福井県民生児童館南風1F
TEL.FAX:0770-24-7517
E-mail:kirahn@angel.ocn.ne.jp

敦賀市 都市整備部
新幹線整備課

課長

森下正則

Asanori Masashi

〒914-8501
福井県敦賀市中央町2丁目1番1号
TEL.(0770)21-1111(代)
(0770)22-8212(直)
FAX.(0770)23-1127
E-mail ts226387@ton21.ne.jp

WELCOME 2014年 北陸新幹線開業221
TSURUGA



敦賀市都市整備部
都市政策課交流拠点整備室

係長 橋詰拓幸

〒914-8501
福井県敦賀市中央町2丁目1番1号
TEL.(0770)22-8137
FAX.(0770)23-4127
E-mail:ts257564@ton21.ne.jp



その他の関係様式

行政視察結果報告書

行政視察結果報告書

令和 5年 3月13日

高島市議会議長
高木広和

会派名 至誠会
会派代表者名 廣部真造 印
(高島市議会議員 印)

行政視察の結果について (報告)

行政視察の結果について下記のとおり報告します。

記

- 1 期 間
2月9～10日
- 2 視 察 先
東京電力福島第1原子力発電所
- 3 視察目的
原子力発電所が抱えるリスクの理解と事故後の現状を視察し、
見識を深めるため。
- 4 調査内容
別紙参照のこと
- 5 参 加 者
廣部真造、河越安実治、中川あゆこ

2月9日				
9:00	マキノ	10:23	新大阪	在来線
9:11	新旭	10:23	新大阪	在来線
9:17	安曇川	10:23	新大阪	在来線
10:40	新大阪	11:05	伊丹空港	空港バス
12:25	伊丹空港	13:35	仙台空港	JAL2207
14:28	仙台空港	14:53	仙台駅	在来線
仙台市内宿泊				
2月10日				
7:30	仙台駅東口 仙台東 常磐富岡	16:30	仙台空港 常磐富岡 仙台空港	レンタカー 高速料金 高速料金
17:40	仙台空港	19:05	伊丹空港	JAL2212
19:25	伊丹空港	19:50	新大阪	空港バス
20:05	新大阪	22:10	安曇川	在来線
		22:14	新旭	在来線
		22:26	マキノ	在来線

集合場所である廃炉資料館で、震災発災から現在に至るまでの福島第1原子力発電所の概要と、東京電力の反省のメッセージを含む映像を視聴した。その後、専用バスにて発電所へ移動し、廃炉に向けての作業状況等について担当者より説明を受けた。津波の高さについての過信が必要な対策を講じずに、事故を招く結果となったと反省の弁があった。

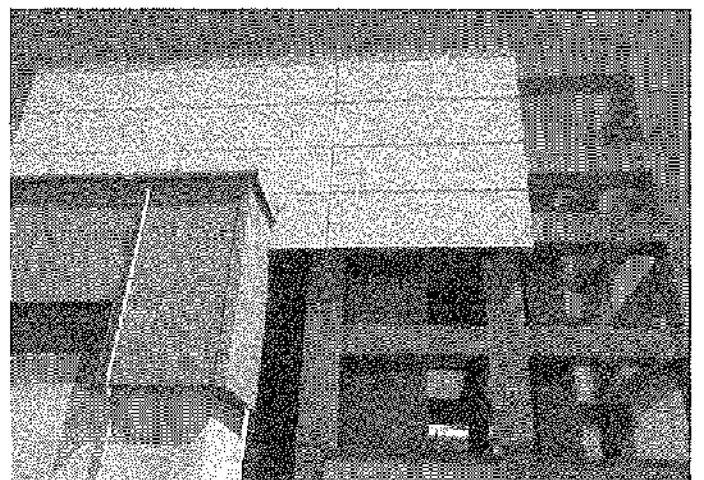
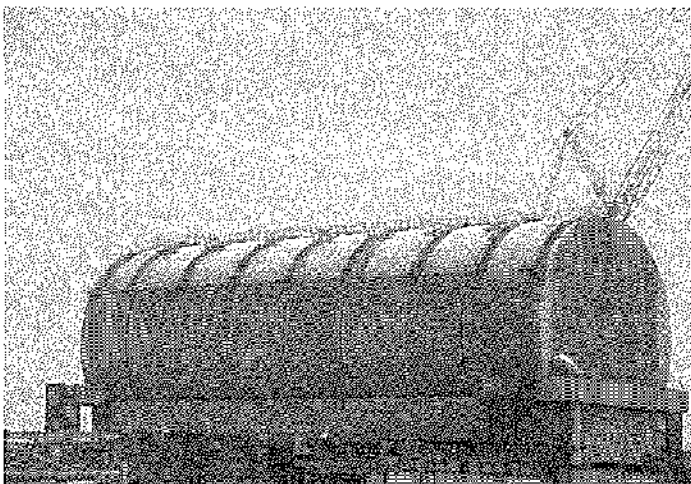
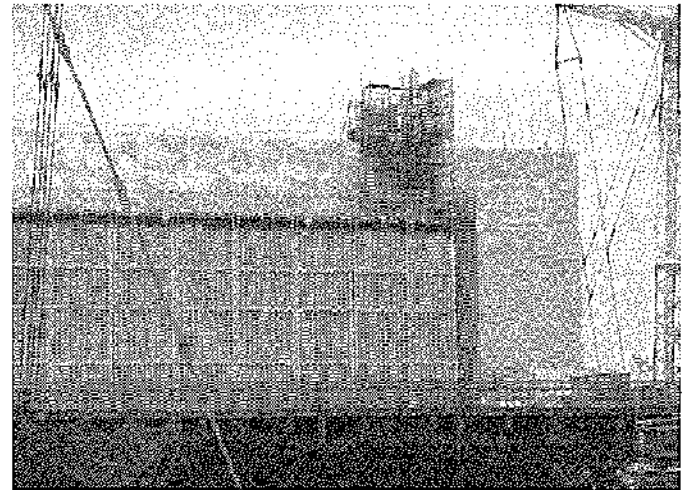
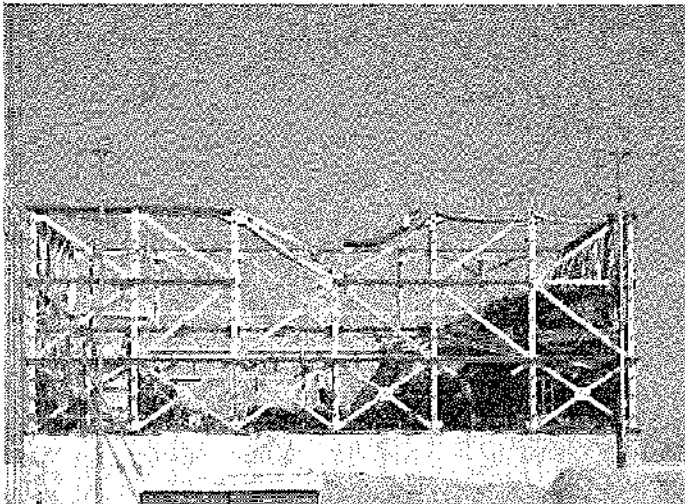
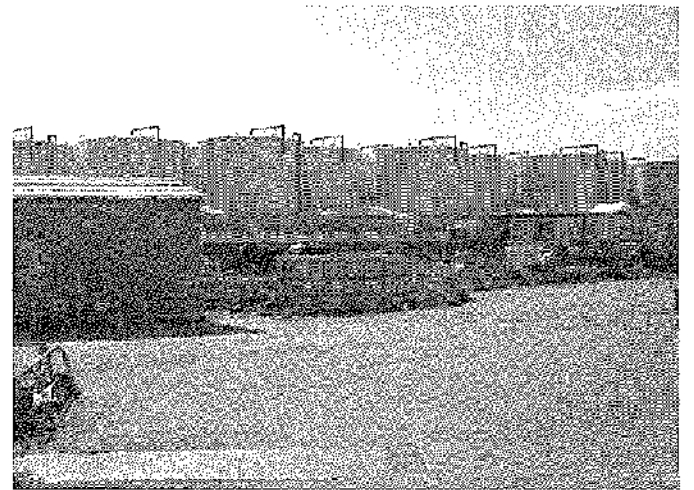
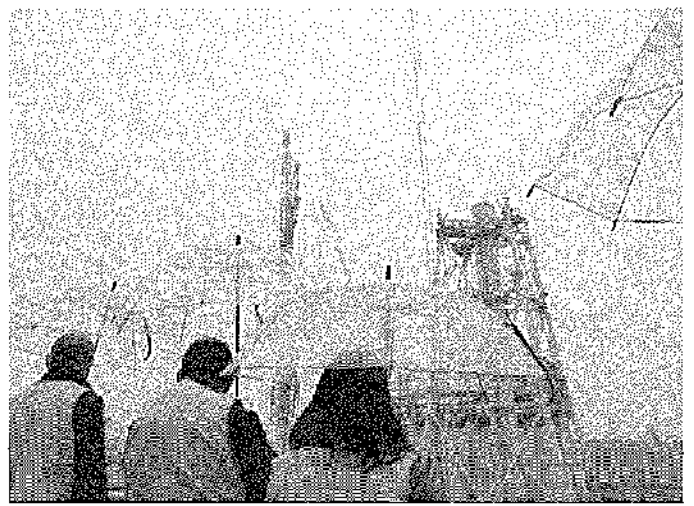
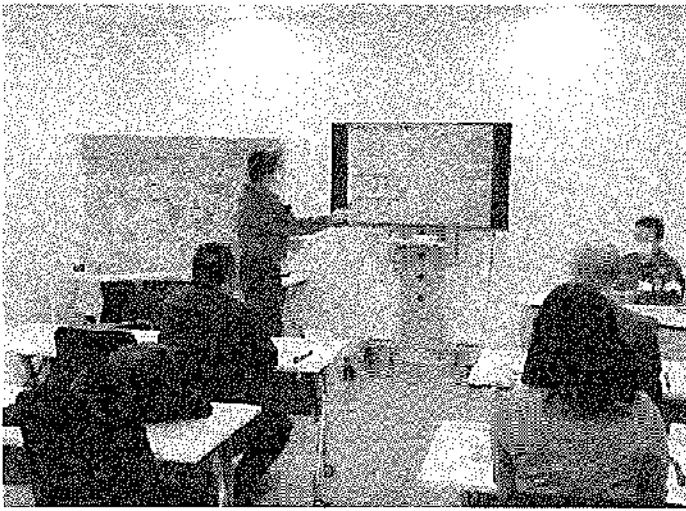
福島原発近隣地域は帰宅困難区域として指定されたままで、区域内の民家や商業施設は事故当時のまま閉鎖され、店内には商品が放置されていました。

事故を起した原発内の核燃料（溶け落ちたデブリ）の冷却は安定して管理されていました。原発施設敷地内のほとんどでは、平易な作業服で活動ができる状況です。原発に流入した地下水は、強い放射性物質を含んだ汚染水として汲み上げられ、いくつもの除去フィルターで処理をされます。取り除くことが困難な放射性物質トリチウムのみを含んだ処理水として、大型タンクに貯蔵されています。

この処理水の海洋放出に関して頻繁に報道されていますが、現在も世界中の原子力発電所から基準値以下に希釈されたトリチウムを含む水が処分されています。トリチウムは自然界にもともと存在するもので、その特性は正確に解明されています。世界中の原子力発電所からトリチウムが何十年にわたって処理されてきています。その影響が報告されていない事実からみても、人や環境に影響を及ぼさないことを正しく受け止めることが大事だと考えます。

国民がこのトリチウムを正確に理解することこそが、風評被害を未然に防ぎ福島復興に繋がると考えます。誤った情報や、不十分な理解から悪戯に反対や懸念を持つことがないように、政府において丁寧な説明が必要であると考えます。

原子力発電所が所在する若狭地域と隣接する高島市としては、100%の安心はないものとして、発電事業者に対して適切に対応し続ける必要があると考えます。





執行役員
福島第一原子力発電カンパニー
シニアバイスプレジデント

坂井 毅志

東京電力ホールディングス株式会社

〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字美沢字北原22
TEL 080-9868-8970(直通) (0240)30-9301(代表)
FAX(0240)30-9311
E-mail: takeshi-sakai@tepcoco.jp <https://www.tepcoco.jp>



福島第一原子力発電カンパニー
広報コミュニケーションセンター
視察コミュニケーショングループ
課長

今津 清伸

東京電力ホールディングス株式会社

〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字美沢字北原22
TEL(0240)30-9301(代表)
E-mail: imazu.kiyonobu@tepcoco.jp
<https://www.tepcoco.jp>